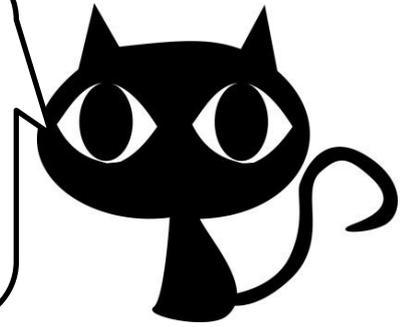


としょしつだより

ししょ にしうら
司書の西浦です。みなさん、^{うんどうかい}運動会とってがんばってましたね。^{あき}秋はスポーツの秋、^{あき}食欲の秋、^{あき}そして「^{どくしょ}読書の秋」です。^{どくしょしゅうかん}読書週間もはじまりました。^{みな}皆さん、^{いっさつ}一冊でも^{おお}多くの^{おもしろ}面白い本、^{たの}楽しい^{ほん}本を^よ読んでください。^{ほん}いろいろな本を^{ようい}用意して^{としょしつ}図書室で^ま待っています。



としょしつ あたら ほん はい 《図書室に新しい本が入りました》

こんかいはい ほん
今回入った本です。みなさんが気になる本はありますか？

ちいさなちいさなおかしのまち	CD 付きはじめてのにほんとせかいのえいごえほん にほんのおはなし①②
ぎょうれつのできるケーキやさん	CD 付きはじめてのにほんとせかいのえいごえほん せかいのおはなし①②
ゆかいなことばシリーズ てんのないにつき	きょうから ^{たいいく} 体育が好きになる！ さかあがり
おばけぼうやのみずじごくうたうためぐり	きょうから ^{たいいく} 体育が好きになる！ なわとび
ずっぼんぼんのすけ	きょうから ^{たいいく} 体育が好きになる！ クロール
コケッコーさんのなつやすみ	きょうから ^{たいいく} 体育が好きになる！ とび箱
エプロンひめのキラキラ☆プリンセスケーキ	きょうから ^{たいいく} 体育が好きになる！ サッカー他
あいうえおかしなどうぶつえん	がっけん 学研まんが げんじものがたり 源氏物語
まんが冒険恐竜館 恐竜たちの戦い	がっけん 学研まんが へいけものがたり 平家物語
まんが冒険恐竜館 恐竜の世界へ	学研まんが まくらのそうし 枕草子
まんが冒険恐竜館 とり 鳥になった恐竜	学研まんが たけとりものがたり 竹取物語
まんが冒険恐竜館 きよだいらゆう 巨大竜と翼竜	はじめての ^{てつがく} 哲学
まんが冒険恐竜館 だいぜつめつ 大絶滅をこえて	たたか 戦いで読む日本の歴史：信長・秀吉 ひでよし てんか やぼう 天下への野望
ようこそなぞなぞしょうがっこう	カラー版 ほん せんごくぶ 戦国武器甲冑事典
きょうかしょ 教科書にでてくるおはなし 366	かてい 家庭でマスター！ しょうがくせい 小学生のスマホ免許
ムシとあそぼう さわってみよう【虫の変化】	おばあちゃん、おじいちゃんを知る本 どうしてすぐ忘れちゃうの？
ムシとあそぼう おおきくなると【虫の親子】	てんき 天気の基本を知ろう！
ねん くみ 3年1組ものがたり せんせい ジュン先生がやってきた！	さんすうず 算数好きな子に育つ たのしいお話 365
わら 笑われたくない！	いま 今すぐ身につけたいサバイバルテクニック
ようかい にほんちず 妖怪の日本地図 近畿	せんじょう 戦場カメラマン わたなべよういち 渡部陽一が見た世界 がっこう 学校
あじ 味わおう！ お笑い	ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災 かまいし 金石の”奇跡”
くらしの中のマーク・記号図鑑	ビジュアルブック 語り伝える東京大空襲 とうきょうだいこうしゅう 10万人が死んだ炎の夜
とも 友だち・学校のルール	まちのしごとば だいけんきゅう ぜん 全5巻
きょうかしょ 教科書がよくわかるつまずきことば図解辞典 しょうがく 小学1・2年生	キャリア教育支援ガイド お仕事ナビ ぜん 全5巻

10月27日から11月9日は読書週間です



戦後間もなく、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という考え方を元にして、はじまった行事です。言葉は難しいですが、『本をいっぱい読んで、世界の色々なことを知って、人の気持ちを想像できる人になって、みんなで平和な社会をつくりましょう』という事だと思います。みなさんも本をたくさん読みましょう！

図書室でも、11月下旬に向けて、読書を楽しんでもらえるイベントをしたいと思っています。

《国際こども図書館》より、『世界を知るセット』として、本を40冊、貸していただきました。11/1より閲覧（みること）を開始しています。貸出はできませんが、世界の子どもの生活や文化について書かれている本がたくさんあります。ぜひ、図書室に読みに来てください。

本を寄贈（プレゼント）していただきました。

東京都にすむ山内信子さんから、大阪狭山市立第二小学校の皆さんへ、本のプレゼントを頂きました。『名犬チロリ』と『いのちをつなぐ』の二冊です。

どちらの本も東北の震災で飼い主と離れ離れになってしまった犬たちが大木さんに引き取られ、その後被災者の方々を訪ねて、元気づけたりするセラピードッグとして頑張っている犬たちのお話が描かれています。

山内さんは大阪の茨木市の出身で、大阪や神戸でも大きな震災を経験しているので、それを覚えていらっしゃるご家族の方と色々とお話ができたらいいな、と思って、大阪と兵庫の小学校の皆さんに本を配る活動がされています。

裏面に山内さんからのお手紙を載せています。図書室で寄贈いただいた本の貸出をしていますので、読みに来てください。



やまうち いただ てがみ ぜんぶん
山内さんから 頂いたお手紙の全文です。

はじめまして。私は東京都にすむ山内信子と申します。
小学校5年生から結婚するまで、大阪府茨木市にすんでいて、高校までは大阪市内
の学校に通ってました。今は65歳になり、孫もいるおばあちゃんです。

学校図書にもある「名犬チロリ」という本をしていますか？
赤ちゃんのいる捨て犬チロリがつかまって殺されそうになったとき、大木トオル
さんという人に助けられた、というおはなしです。
大木トオルさんはそうやって助けた犬を訓練して、お年寄りや体の不自由な人の
ところに行って、心をいやしたり、いっしょにいて、みんなに元気をあげる仕事の
できる『セラピードッグ』に育てる活動をしている人です。
大木さんに育てられたセラピードッグたちは今も日本中で活躍していて、たくさ
んの人を元気にしています。

みなさんもしっている東日本大震災の時のことです。
福島の原子力発電所が地震でこわれて、近くにすんでいる人はすぐに避難をしな
ければなりませんでした。

おおあわてで逃げなくてははいけなかったので、たくさんのペットや家畜がとりの
こされてしまいました。

大木さんは原子力発電所の周辺に取り残された犬たちの何匹かを助け出して、
自分の施設で訓練してセラピードッグにしています。

私はその犬たちが助けられて、今はセラピードッグとして活躍していることを描
いた本を偶然読んで、とても感動しました。

あんなにつらい目にあっても犬たちは大木さんに愛されて、いやされて、自信を取
り戻したのです。そして自分たちがつらい思いをしたから、苦しんでいたりさみし
かったりする人のことがわかるんですね。

今は大木さんといっしょに、被災地やいろいろな施設に行き、いっぱい働いて
くれています。

福島では避難しなければならなかった人たちがたくさんいて、今も福島に帰れないで、つらい経験をしている子供たちがいます。

みなさんがその子供たちと会う事はないかもしれないけれど、大木さんの書かれた本を読んで、すこしでも思いやる気持ちをもってもらえたらなあと思って、大木さんの本をみなさんに送りたいと思いました。

私は去年、東北の小学校に「名犬チロリ」と「いのちをつなぐ」という2冊の本を送ったのですが、震災で自分たちの学校がなくなってしまった子どもたちや、身近な人たちが津波で死んでしまった人たちから「覚えていてくれてありがとう。チロリの元気をもらったよ」という手紙をもらいました。

それでもうずいぶん昔の話になるけれど、同じように震災があった大阪と兵庫のみなさんに本を届けようと思いました。震災のことを知っているお父さん、お母さん、先生たちと、命の大切さや、今福島から避難している子供たちのことを話し合うきっかけになればいいなと思っています。

「チロリたちの本は図書館にあるのだけれど、いつも借りられていて読めないのもう一冊もらえてよかった」という東北の小学校の図書委員会からの手紙に励まされて、もうちょっとがんばってみました。

東北の子どもたちと同じように、みなさんで読んで、いろいろ話し合ってみてください。

とうきょうとまちだし やまうちのぶこ
東京都町田市 山内信子

